

## スマートフォン向けアプリケーション審査システム

スマートフォン向けアプリを安心・安全にご利用いただくため、Android アプリケーションによる利用者情報の取得・外部送信の実態を解析し、安全性を評価するシステムの実用化を果たした。

スマートフォンアプリは、従来の限られた開発者により提供された携帯電話向けモバイルアプリケーションと異なり、アプリ開発用の API と開発環境が公開され、多種多様なアプリケーションが公開されることとなった。また、端末の機能の高度化に伴って、電話番号やメールアドレスの他、位置情報や撮影した写真のデータなど、ユーザーのパーソナル情報を多く扱うことが可能となった。こうした環境変化は、アプリケーションの利便性を向上した一方、セキュリティとプライバシーを担保するために、情報が適切に扱われることを確認する技術が望まれることとなった。

この課題を解決するために、Android アプリケーションを、安全性評価用の端末で実行し、その際に収集されるアプリの振る舞いや通信に関する複数のログ情報を統合して解析することで、アプリの危険性やプライバシー侵害のリスクを自動的に判定するシステムを開発した。

本システムは、KDDI が通信事業者独自のスマートフォンアプリマーケットとして展開する au one Market において、2010 年 9 月から提供が開始された、マーケットに掲載するアプリケーションの安全性を事前に審査する「セキュアアプリ検証」サービスを実現するシステムとして商用化された。



図 アプリケーション審査システムの運用画面と au one Market における審査結果の表示